

学校名	岡山県 備前市立日生中学校
授業者	教諭 近藤 賢

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

「日生の社長になろう」～地域活性化の応援団～

1-2. 学年

第3学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間，学級活動

1-4. 単元の概要

本単元の学習は、まず、これまで学習してきた「海洋学習」についての振り返りによる学びの再認識をする場として考えられる。思考ツールを用いて（本単元ではウェビングを用いる）海洋学習についてのイメージを広げていくことにより、学びの再認識に加え、何かしらの課題を見つけられる生徒が現れることを期待したい。その課題に焦点を当て、課題解決に向けたアイデアを生み出すため、グループでの対話的な活動を設定し、話し合うことでアイデアの整理・分析を促したい。また、その結果を発表することで、プレゼンテーション能力の向上と、クラス全体への思考の共有化を図る。さらには、日生の地域への貢献や将来への展望等について考えたり、「今の自分たちにできることは何か」を探求したりする活動への展開も期待できる。あわせて、生徒同士の相互評価をし、優秀なグループへの表彰を行う。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

【単元設定の理由】

本校では、日生町漁業協同組合の全面協力の下、「海洋学習」という名称で、地域学習に全学年で取り組んでいる。主にカキの養殖体験、アマモ場の再生活動などの体験活動を行っており、生徒達はそれぞれの活動を楽しみ、意欲的に取り組んできた。また、その都度振り返りをする中で、多くの生徒が日生の海に対する肯定的な感想をもっている。また、地域の方々との関わりの中で、自己肯定感が高まり、学習へも良い影響を及ぼしている。

しかし、海洋学習は中学生の期間内での連続性はあるものの、中学校の3年間で完結するため、さらに探求したり、その後の生き方へ生かそうとしたりする生徒は少ない。そこで、3年間の活動を改めて振り返ることを通して、地域における課題に気づかせたり、その解決の方法について考えさせたりすること、さらには地域への貢献や将来への展望も意識させることを目的に単元の設定をした。

あわせて、本校の「総合的な学習の時間」の各教科との連携等を進めていくために、本単元の指導結果をもとに「総合的な学習の時間」のカリキュラムについて研究し、マネジメントしていきたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

○ 3年間の海洋学習を振り返る中で新たな課題を見出し、収集し、それを整理したり分析したりして、まとめることができる。
○ 多面的な見方で発想を広げ、課題解決に向けた方策を考え出したり、相談しながら集約したりすることができる。
○ 集約した様々なアイデアを取捨選択してポスターにまとめ、聴衆に伝わりやすいようにまとめて発表することができる。
○ 自他のグループの発表を受けて、それぞれのグループの思考を共有することで、その良さを他の学習に役立てようとしたり、現在の自分の生活を見つめ直そうとしたりすることができる。

1-7. 単元の展開（全5時間）

時数	学習活動・主な内容	◎教師の指導 / ○主な評価 ◇外部連携 / ●使用教材等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドによる海洋学習の振り返り ・ウェッビングの手法を用いて「海洋学習」についてのイメージをできるだけたくさん記入して、アイデアを膨らませていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎パワーポイントを用いて学習の流れを提示する。 ○ウェッビングの手法を用いて発想を広げている。 ●PowerPoint, ワークシート
2	<ul style="list-style-type: none"> ・自他のワークシートを用いて思考を共有する。 ・ウェッビングにより課題解決のためにたくさんアイデアを出す。 ・グループでアイデアを共有し、話し合いながら集約していく <p>（グループで1つの会社をつくる。社名・会社のコンセプトを相談して決める。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎前時の、生徒の良い考えを紹介する。 ◎パワーポイントを用いて学習の流れを提示する。 ○ウェッビングの手法を用いて発想を広げている。 ●PowerPoint, ワークシート ○集めた情報を整理したり分析したりして、まとめている。 ○グループで各の考えを共有しながら、よりよい解決方策に集約する活動に、意欲的に参加している。 ◎話し合いの様子を観察し、良い考えを全体に紹介する。
3 4	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の準備をする。 ポスター作成 発表内容の分担, ・発表のシミュレーション 	<ul style="list-style-type: none"> ◎パワーポイントを用いて学習の流れを提示する。 ○まとめた内容を、相手に分かりやすく伝えるために、工夫や準備をしている。 ◎ポスターの工夫点が思いつきにくいグループにはレイアウトなどをアドバイスする。 ○主体的に話し合いに参加している。

5	<p>・各グループの発表をする。</p> <p>・他のグループの発表を聞きながら、ワークシートに気づいたことを書き、質問や意見を述べる。</p> <p>※発表に使用したポスターを展示し、学年にも紹介した。また、生徒の投票により優秀作品を選定し、表彰した。(11グループ中2グループ)</p>	<p>○ポスター発表の際に聴衆を意識して発言している。</p> <p>◎ポスター発表の観察し、良い発表を称揚する。</p> <p>○他のグループの良いところを見つけたり、疑問に感じた事を書きとめたりしている。</p> <p>●ワークシート</p> <p>○自他のグループの発表から学んだことを、今後の生き方にどう生かすことができるかを考えている。</p> <p>◇備前市の教育研修所総合的な学習の時間中学校部会の公開研究授業に位置づけ、授業後に研究協議を行った。</p>
---	---	---

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- グループで話し合った様々なアイデアをまとめたポスターを使って、聴衆に伝わりやすいように発表することができる。
- 各グループの発表を受けて、学んだことを何に生かすことができるか考えようとしたり、将来の自分の生き方に照らし合わせようとしたりしている。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	○教師の指導・支援 / ●評価の視点（方法）
<p>1 前時の内容を振り返り、本時の学習活動を知る。</p> <p>2 発表する。 質疑応答する。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>前時までに、グループを「会社」と見立て、以下の内容について話し合い活動をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社長の決定 ・会社名 ・会社の事業内容 ・具体的な課題解決の手立て ・ポスターづくり（発表の準備） </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>目標 お互いの会社の良いところを探し、将来の日生の姿について考えよう。</p> </div> <p>○発表を聞く際の注意事項を確認する</p> <p>①それぞれの「会社」の良いところを探しながら発表内容を聞き、記録すること、疑問に思ったことを記録する。（記録用ワークシートの配付）</p> <p>②他のグループの発表に対して客観的な評価をする。</p> <p>○机間巡視により、発表を聞きながら生徒が記録している内容を把握しておく。</p> <p>○発表中の質疑応答はそれぞれの会社が行い、教師が誘導しないようにする。</p> <p>●ポスター発表の際に聴衆を意識して発言している。</p> <p>●適切に質疑している。</p>

<p>3 本時のまとめをする。</p>	<p>○「お互いの会社の事業の中で、実現してみたいと思ったことを書いてみましょう。また、実現のために自分ができることを考えてみましょう。」</p> <p>○数名の生徒の考えを紹介する。</p> <p>○日生町漁協専務の天倉さんの言葉を引用して、本時のまとめとする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>まとめ 「中学生のみんなには『日生の応援団』になってもらいたい。」</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※制作したポスターは、校内掲示をして他学年へ紹介することで、次年度に向けて後輩達がより深い学びに向かうよう働きかける。</p> </div> <p>●各グループの発表を受けて、学んだことを何に生かすことができるか考えている。</p>
---------------------	---

3. 今回の活動の自己評価

本単元全体を通して、「生徒の主体的・対話的な活動」を意識して行った。生徒の主体性を引き出すための工夫としては、思考ツールの活用がある。『自分の考えを、自分の言葉で』話すためには、これまでの体験や経験を基に『思考を整理する』ことが欠かせない。そのため、単元の始めに『思考を整理する』活動を組み込んだ。ウェビングによる思考の整理を2回設けたことで、生徒はより深く思考を巡らせることができた。また、その考えをもってグループ活動を行ったことで、話し合いにより自他の良いところをスムーズに統合できる様子が多々見られた。

授業後の生徒の感想からは、「初めて本気で町のことを考える事ができた。」「自分は町のことが好きなんだと改めて分かった。」「後輩にもこんな勉強をしたらいいと思った。」等、肯定的な感想が多かった。

一部の生徒は SDG s について触れていて良い発表ができていたが、全体に SDG s はまだ十分浸透していないことが明らかになった。

4. 今後の課題

本単元は次年度以降も継続して行いたい。単元としての汎用性をさらに高め、どの指導者でも行えるようにしたい。そのためには、本校の海洋学習についての研修をさらに深め、地域との連携をさらに密にしていくことが必須である。

また、SDG s についての校内研修も行い、SDG14 を意識した海洋学習を行いつつ、他の目標項目も取り組めるような単元開発を独自に行って行きたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

本校独自の学習プログラムですので、別段留意することはありません。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。